

JICPA 自然資本セミナー第2弾

「生物多様性と情報開示～持続的価値創造の視点からの自然資本開示（実務と課題）」

日本公認会計士協会では、資本市場におけるサステナビリティ情報の信頼性確保及び高品質な開示の実現に貢献するため、公認会計士に対するサステナビリティ能力開発を推進しています。その取組の一環として「[JICPA サステナビリティ能力開発シラバス](#)」に基づくセミナーを開催しています。

本セミナーは、2025年9月に開催した自然資本セミナーの第2弾となります。企業経営に関わる方々が知っておくべき自然関連財務情報開示の要点、及び ISSB における基準開発動向を概観した後、パネルディスカッション形式で、自然資本や生物多様性に関する課題に先進的に取り組む企業及び投資家の方々に、自然資本開示の実務や課題についてご議論いただきます。

自然資本セミナー第1弾も[アーカイブ配信](#)しておりますので、併せてご覧ください。

開催日時：2026年3月13日（金）15:00-16:30（90分）

開催方法：ハイブリッド形式

会 場：日本公認会計士協会（千代田区九段南4-4-1）／オンライン（Microsoft Teams）

定 員：会場 100名／オンライン 1,000人

参 加 料：無料（どなたでもご参加いただけます。）

参 加 申 込：以下URL又はQRコードからご確認ください。

<https://jicpa.or.jp/news/information/2026/20260217gac.html>



問合せ先：sustainability-seminar@sec.jicpa.or.jp（日本公認会計士協会 サステナビリティ開示・保証グループ）

プログラム

1. 自然資本関連の情報開示に係るフレームワーク

(1) 企業経営に関わる方々が知っておくべき自然関連財務情報開示の要点

MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社 サステナビリティ推進部 フェロー/TNFD タスクフォースメンバー 原口 真 氏

(2) ISSB における自然資本開示の検討状況

日本公認会計士協会 テクニカルディレクター/IFRS 財団 Integrated Reporting and Connectivity Council メンバー 森 洋一

2. 企業事例とパネルディスカッション

- ・ 自然資本・生物多様性に関するビジネス上のリスク及び機会
- ・ 気候変動と自然資本の統合的マネジメント・開示
- ・ TNFD 開示から ISSB・SSBJ 開示への展開アプローチと課題

住友林業株式会社 執行役員 コーポレート本部副本部長 サステナビリティ推進統括 飯塚 優子 氏

MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社 サステナビリティ推進部 フェロー/TNFD タスクフォースメンバー 原口 真 氏

アセットマネジメント One 株式会社 運用本部 リサーチ・エンゲージメント部 ESG アナリスト 矢野 節子 氏

日本公認会計士協会 テクニカルディレクター/IFRS 財団 Integrated Reporting and Connectivity Council メンバー 森 洋一

【本文中の略称】

ISSB：国際サステナビリティ基準審議会（International Sustainability Standards Board）

TNFD：自然関連財務情報開示タスクフォース（Taskforce on Nature-related Financial Disclosures）

SSBJ：サステナビリティ基準委員会（Sustainability Standards Board of Japan）